特　　集

静岡県内政令指定都市の消費者物価指数の動き

静岡市平成29年平均指数（生鮮食品を除く総合）２年ぶりの上昇

経営管理部　統計調査課

県内政令指定都市（静岡市及び浜松市）の消費者物価指数について、平成22年（浜松市分の公表開始）から29年までの年平均の推移、平成29年の10大費目別指数の前年比及び月別の動きを紹介します。

消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を時系列的に明らかにするものです。

１　静岡市消費者物価指数

静岡市の平成29年平均の消費者物価指数は、平成27年を100とした**総合指数**が**100.0**となり、前年と比べ**0.4%の上昇**で、**２年ぶりの上昇**となった。

天候により値動きが大きく左右する**生鮮食品を除く総合指数**は**99.9**となり、前年と比べ**0.5%の上昇**で、こちらも**２年ぶりの上昇**となった。

ガソリンや電気代などのエネルギーは海外要因で変動する原油価格の影響を直接受けることから、これらの一時的な要因や外部要因を除く基調をとらえるために、平成27年分から公表された**生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数**は**100.6**となり、前年と比べ**0.2%の上昇**で、公表開始以来**２年連続の上昇**となった。

(1)　年平均の推移

総合指数は、平成22年から平成25年にかけてほぼ横ばいに推移したが、平成26年は４月に消費税率が５％から８％に改定されたほか、食料やエネルギーなどが上昇したことにより前年比2.8％と大幅に上昇した。（消費者物価指数は、消費税分を含めた消費者が実際に支払う価格を用いて作成している。）平成27年は原油価格の下落が続きガソリンなどが大きく下落した一方、食料や教育、教養娯楽を中心に幅広い品目で上昇がみられたため、前年比0.8％の上昇となった。平成28年は原油や液化天然ガスの輸入価格安に伴い、エネルギー品目が下落に転じ、0.4％の下落となった。平成29年は、原油価格が前年に比べて高値で推移した影響で、ガソリンや電気代などが上昇したことや生鮮魚介の不漁による価格高騰などで、前年と比べて上昇に転じている。**生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数**を見ると、平成28年、29年ともに前年と比べて上昇が続いている。

図１　静岡市消費者物価指数の推移　　（平成27年=100）

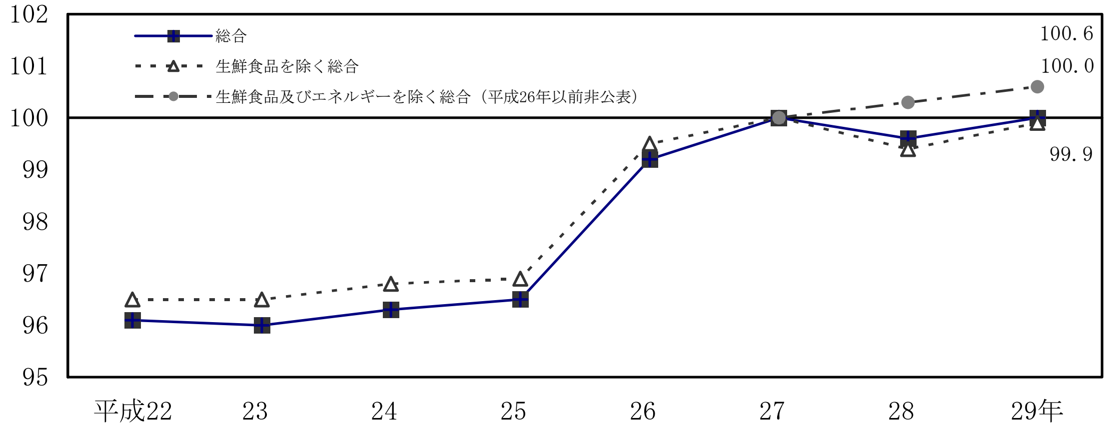


図２　静岡市消費者物価指数の前年比の推移

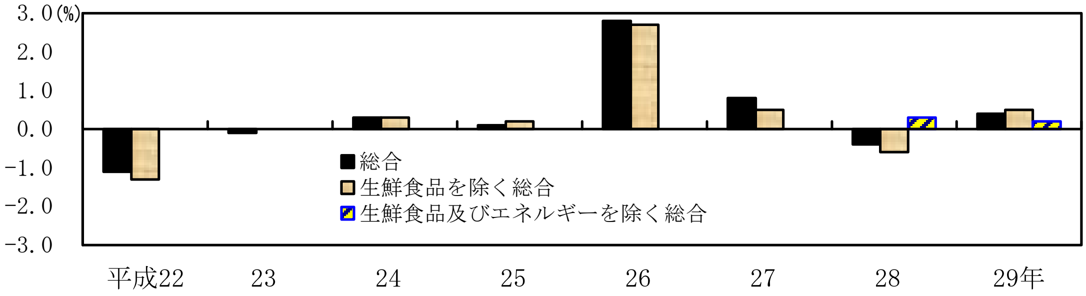


表１　静岡市消費者物価指数及び前年比

（平成27年=100）

	平成	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年
総合	指数	96.1	96.0	96.3	96.5	99.2	100.0	99.6	100.0
	前年比(%)	-1.1	-0.1	0.3	0.1	2.8	0.8	-0.4	0.4
生鮮食品を除く総合	指数	96.5	96.5	96.8	96.9	99.5	100.0	99.4	99.9
	前年比(%)	-1.3	0.0	0.3	0.2	2.7	0.5	-0.6	0.5
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	―	―	―	―	―	100.0	100.3	100.6
	前年比(%)	―	―	―	―	―	―	0.3	0.2

(2)　10大費目別指数の前年比

平成29年平均の10大費目別指数の前年比を見ると、**教育**が補習教育（高校・予備校）などの値上がりにより2.4%の上昇、**光熱・水道**が電気代などの値上がりにより1.3%の上昇となった。

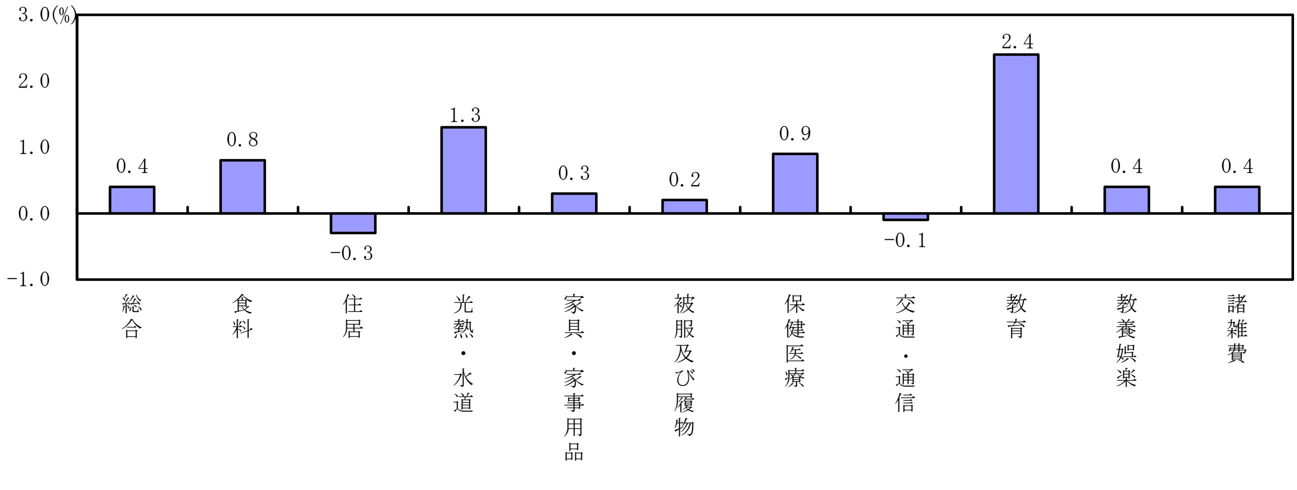
交通・通信は、自動車等関係費（ガソリンなど）などの値上がりにより上昇した一方、通信各社の携帯電話料金プランの値下げにより通信料（携帯電話）などが下落し、前年比0.1%の下落となった。なお、エネルギーは10大費目ではなく、**光熱・水道**に「電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油」、**交通・通信**に「ガソリン」が分類される。

表２　静岡市消費者物価指数の平成29年10大費目別指数、前年比及び寄与度

（平成27年=100）

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	100.0	102.3	99.1	92.6	98.4	101.9	101.1	98.3	104.6	101.6	100.8
前年比(%)	0.4	0.8	-0.3	1.3	0.3	0.2	0.9	-0.1	2.4	0.4	0.4
寄与度	―	0.21	-0.06	0.10	0.01	0.01	0.03	-0.01	0.08	0.04	0.02

図３　静岡市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3)　平成29年の月別の動き

平成27年を100とした**総合指数**は、前年同月と比べ３月以降上昇に転じており、12月は1.3％の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は、前年同月と比べ２月までは下落していたが、４月以降上昇に転じており、12月は1.2％の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数についても、前年同月と比べ、４月以降上昇している。

図４　静岡市消費者物価指数の月別の動き　（平成27年=100）

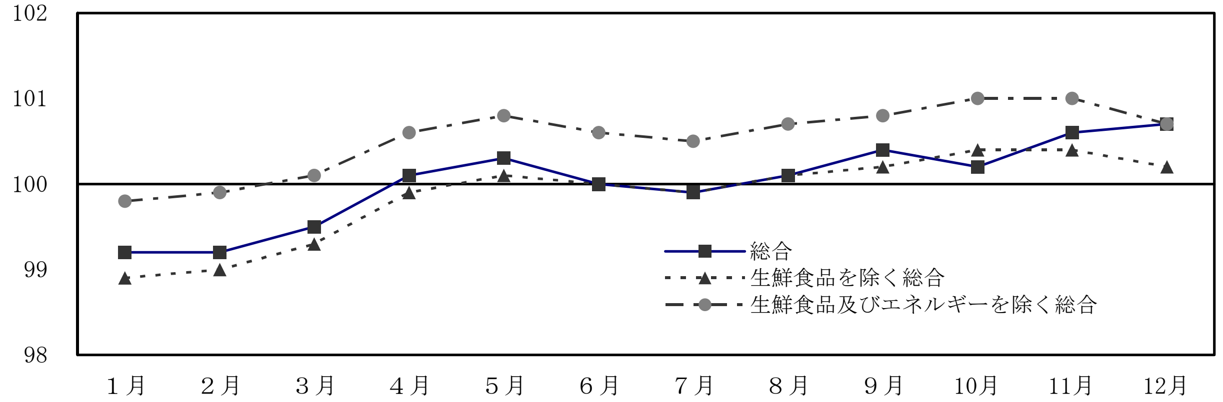


図５　静岡市消費者物価指数の前年同月比の動き

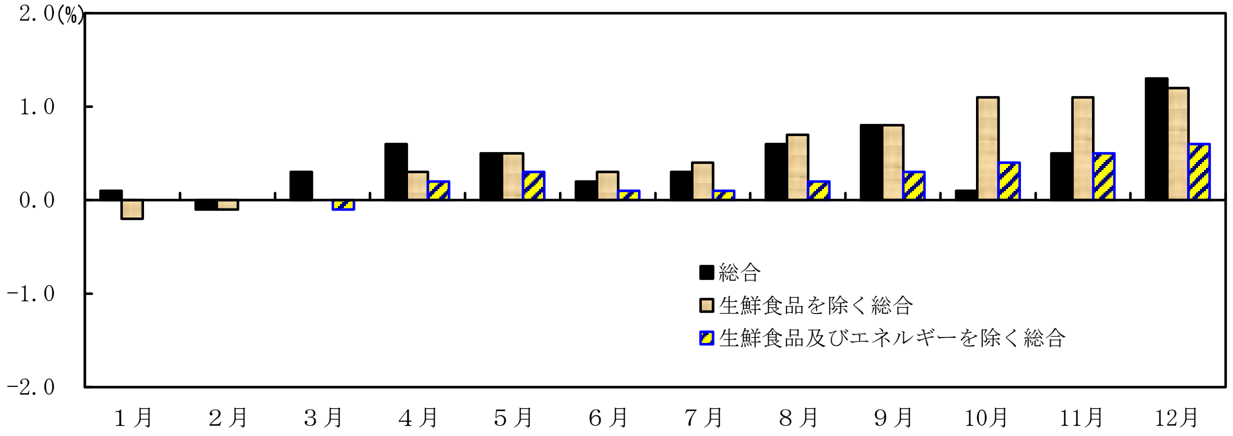


表３　平成29年の静岡市消費者物価指数の月別推移　（平成27年=100）

		１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
総合	指数	99.2	99.2	99.5	100.1	100.3	100.0	99.9	100.1	100.4	100.2	100.6	100.7
	前年同月比(%)	0.1	-0.1	0.3	0.6	0.5	0.2	0.3	0.6	0.8	0.1	0.5	1.3
	前月比(%)	-0.2	-0.1	0.4	0.6	0.1	-0.2	-0.1	0.2	0.3	-0.2	0.4	0.1
生鮮食品を除く総合	指数	98.9	99.0	99.3	99.9	100.1	100.0	99.9	100.1	100.2	100.4	100.4	100.2
	前年同月比(%)	-0.2	-0.1	0.0	0.3	0.5	0.3	0.4	0.7	0.8	1.1	1.1	1.2
	前月比(%)	-0.2	0.1	0.3	0.6	0.3	-0.1	-0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	-0.2
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	99.8	99.9	100.1	100.6	100.8	100.6	100.5	100.7	100.8	101.0	101.0	100.7
	前年同月比(%)	0.0	0.0	-0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6
	前月比(%)	-0.3	0.0	0.2	0.5	0.1	-0.2	-0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	-0.2

２ 浜松市消費者物価指数

浜松市の平成29年平均の消費者物価指数は、**総合指数**が100.5となり、前年と比べ**0.8%の上昇**で、**２年ぶりの上昇**となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.3となり、前年と比べ**0.8%の上昇**で、**２年ぶりの上昇**となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は100.9で、前年と比べ**0.5%の上昇**となり、公表開始以来**２年連続上昇**となった。

(1) 年平均の推移

総合指数は静岡市と同様、平成22年から25年までほぼ横ばいに推移した後、消費税率の改定などの影響で平成26年に大幅に上昇した。原油価格などを主因として、平成27年は微増し、平成28年は下落したが、平成29年に再び上昇に転じている。

総合指数及び**生鮮食品を除く総合指数**について、静岡市と比較すると、全体的に同じかやや高めに推移している。平成29年の**生鮮食品を除く総合指数**では、静岡市が前年比0.5%の上昇に対し、浜松市は0.8%の上昇となった（全国は0.5%の上昇）。

図６ 浜松市消費者物価指数の推移 （平成27年=100）

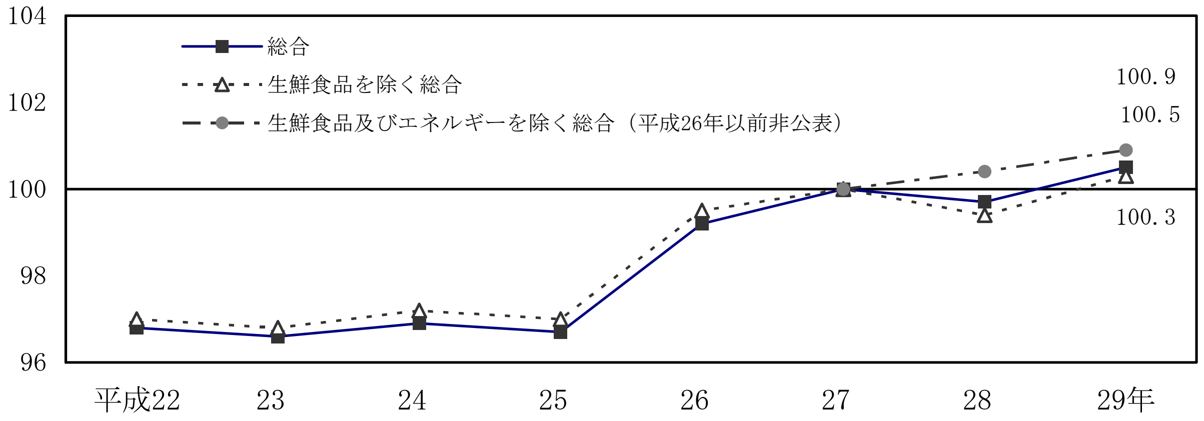


図７ 静岡市及び浜松市消費者物価指数の推移（参考） （平成27年=100）

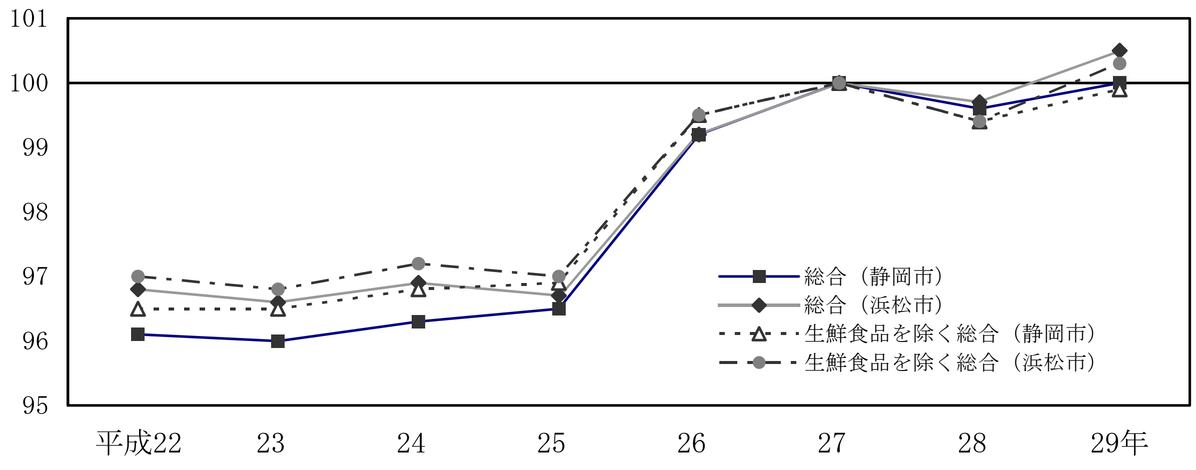


図８　浜松市消費者物価指数の前年比の推移（平成22年の前年比は非公表）

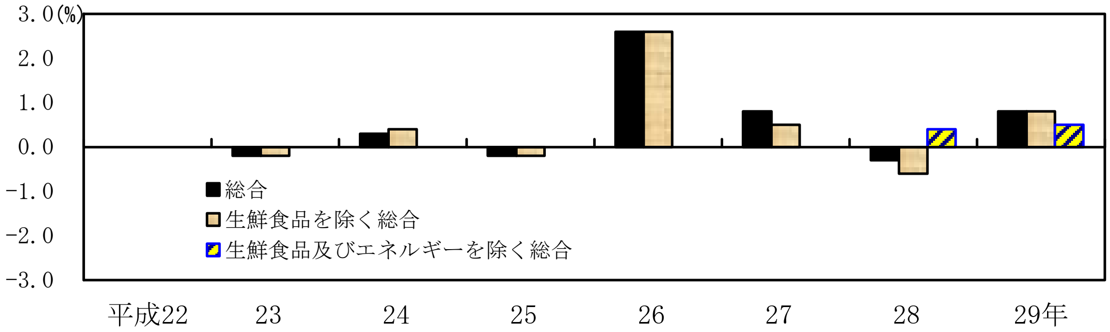


表４　浜松市消費者物価指数及び前年比

（平成27年=100）

	平成	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
総合	指数	96.8	96.6	96.9	96.7	99.2	100.0	99.7	100.5
	前年比(%)	―	-0.2	0.3	-0.2	2.6	0.8	-0.3	0.8
生鮮食品を除く総合	指数	97.0	96.8	97.2	97.0	99.5	100.0	99.4	100.3
	前年比(%)	―	-0.2	0.4	-0.2	2.6	0.5	-0.6	0.8
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	―	―	―	―	―	100.0	100.4	100.9
	前年比(%)	―	―	―	―	―	―	0.4	0.5

(2)　10大費目別指数の前年比

　平成29年平均の10大費目別指数の前年比をみると、**住居**を除くすべての費目で上昇となった。**教育**が授業料（幼稚園保育料（公立）など）などの値上がりにより3.3%上昇し、**光熱･水道**が電気代などの値上がりにより1.9%上昇している。

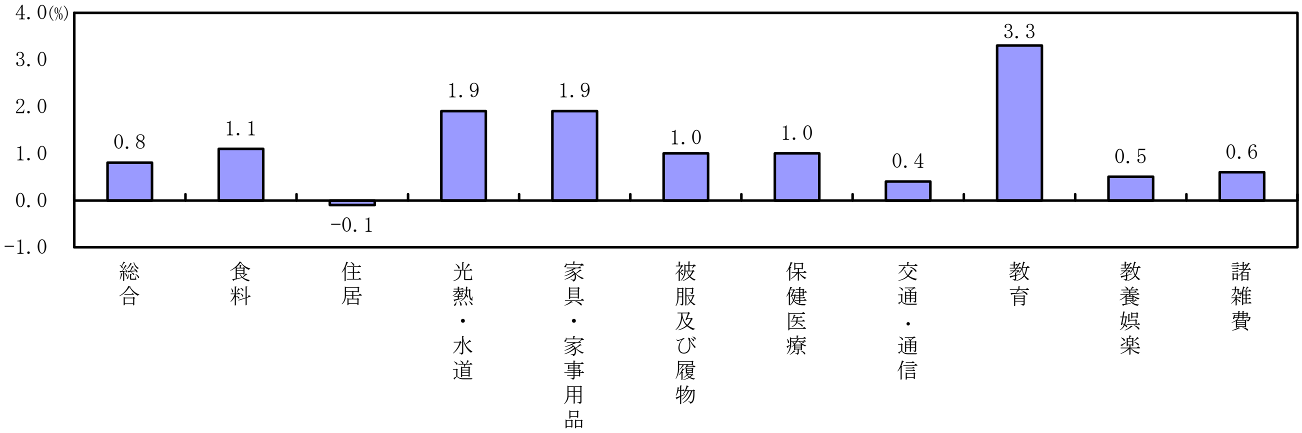
　また、**交通・通信**では、自動車等関係費（ガソリンなど）などが値上がりした一方で、通信料（携帯電話）などが下落し、費目全体でみると0.4%の上昇となっている。

表５　浜松市消費者物価指数の平成29年10大費目別指数、前年比及び寄与度

（平成27年=100）

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	100.5	103.0	98.8	94.1	99.2	103.7	101.7	98.3	106.4	101.8	101.2
前年比(%)	0.8	1.1	-0.1	1.9	1.9	1.0	1.0	0.4	3.3	0.5	0.6
寄与度	―	0.30	-0.02	0.12	0.06	0.04	0.04	0.06	0.14	0.05	0.03

図９　浜松市の10大費目別指数の前年比



(3)　平成29年の月別の動き

平成27年を100とした**総合指数**は、前年同月と比べ、一年を通じて上昇が続き、12月は1.3％の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は、前年同月と比べ、一年を通じて上昇が続き、９月以降は１％台となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数についても、前年同月と比べ、一年を通じて上昇が続いている。

図10　浜松市消費者物価指数の月別の動き　　（平成27年=100）

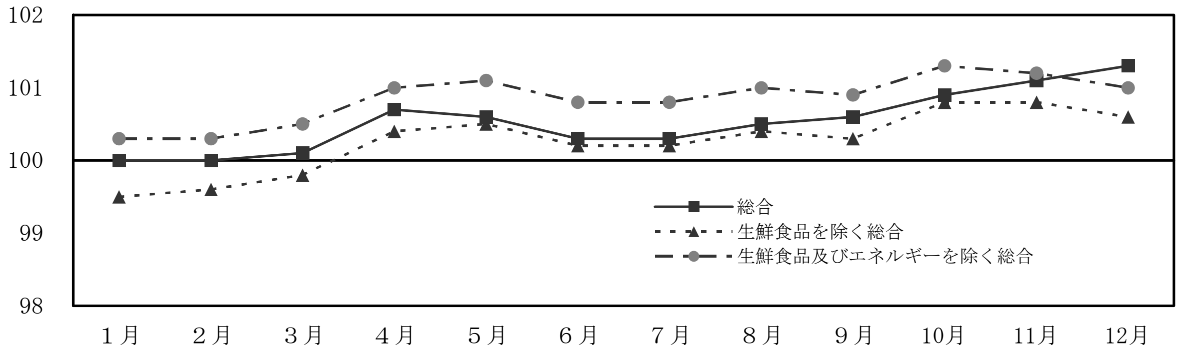


図11　浜松市消費者物価指数の前年同月比の動き

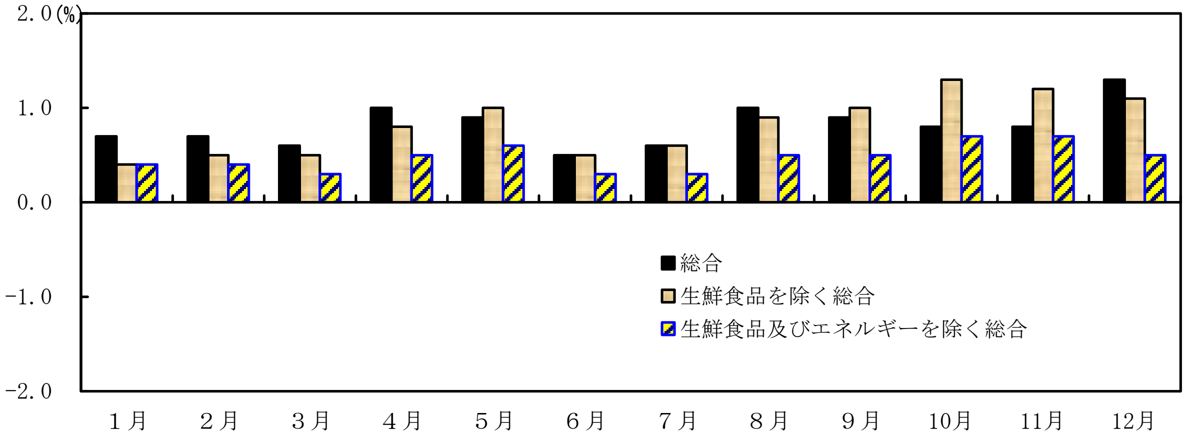


表６　平成29年の浜松市消費者物価指数の月別推移　　（平成27年=100）

		１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
総合	指数	100.0	100.0	100.1	100.7	100.6	100.3	100.3	100.5	100.6	100.9	101.1	101.3
	前年同月比(%)	0.7	0.7	0.6	1.0	0.9	0.5	0.6	1.0	0.9	0.8	0.8	1.3
	前月比(%)	0.0	0.0	0.1	0.6	-0.1	-0.3	0.0	0.3	0.1	0.3	0.2	0.2
生鮮食品を除く総合	指数	99.5	99.6	99.8	100.4	100.5	100.2	100.2	100.4	100.3	100.8	100.8	100.6
	前年同月比(%)	0.4	0.5	0.5	0.8	1.0	0.5	0.6	0.9	1.0	1.3	1.2	1.1
	前月比(%)	0.0	0.0	0.2	0.6	0.1	-0.2	-0.1	0.2	0.0	0.5	0.0	-0.2
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	100.3	100.3	100.5	101.0	101.1	100.8	100.8	101.0	100.9	101.3	101.2	101.0
	前年同月比(%)	0.4	0.4	0.3	0.5	0.6	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.7	0.5
	前月比(%)	-0.1	0.0	0.1	0.6	0.0	-0.3	0.0	0.2	-0.1	0.4	-0.1	-0.2